

外科 麻酔科

病棟 先進医療棟 3F(手術部) / 先進医療棟 4F(集中治療部(ICU))

外来 外来診療棟A 2F

連絡先 022-717-7760(外来), 022-717-7403(手術部), 022-717-7406(医局)



科長
山内 正憲 教授

主な対象疾患

- 全身麻酔および神経ブロックにより手術を要する疾患
- 集中治療管理を必要とする疾患
- 高度な全身管理を必要とする疾患
- 痛みを和らげる必要がある状態

診療内容

【臨床麻酔】麻酔の基本は、手術を受ける患者さんが安心できることと、安全に麻酔を行なうことです。術前診察では、全ての患者さんの状態把握と丁寧な説明を欠かさないようにしております。とくに、重篤な合併症や特殊な手術では、術前のシミュレーションと執刀医・看護師・臨床工学技士・薬剤師とのミーティングという取り組みを行っています。術後は集中治療管理も含め、手術中からの一貫性のある全身管理と鎮痛治療を実践しています。当院は東北地方のみならず高度医療を受けるために全国から来院する重症患者さんも多いため、脳死移植(心臓、肺、肝臓、小腸)、生体部分移植(肺、肝臓、腎臓)など本邦で可能な臓器移植手術全ての麻酔・全身管理を行っています。外科系各科が技術的に高度な疾患を扱うことが多く、多数の食道・肝・胆・膵臓癌根治術、心臓・大血管手術、各種ロボット手術、病的肥満への手術などの特殊な術式に対する麻酔も行っています。

【集中治療】当科で主に管理している集中治療部は、全国の国立大学で初めて運営された長い歴史があり、昼夜の区切りなく24時間体制で30床の治療を続けています。世界トップクラスの人工呼吸管理や人工呼吸器関連肺炎対策、せん妄防止対策を実践しています。

【ペインクリニック】対象疾患は術後痛、帯状疱疹関連痛、リハビリテーションや体動時の痛み、がん性疼痛、痛みを受容できない患者さん、周術期や分娩時の痛みなどで、薬物治療、あらゆる神経ブロック、心理的アプローチを行っています。

診療体制

全身麻酔と局所麻酔、さらには手術室外の放射線治療や検査の麻酔など、様々な場面で全ての患者さんに対応しています。毎日麻酔には25-30名、集中治療2-4名、ペインクリニック1-2名が活躍しています。並行して学生・初期研修医への教育、麻酔科医へのより高度な専門教育を行っています。より多数の視点で麻酔や治療にあたることになることから、高い安全性を確保しています。それぞれの部門で臨床はもちろん、教育と最新知見を基にした医療をリードし、関連各科・部門と協調しています。

得意分野

- ・重症の呼吸・循環不全に対して、術前評価とシミュレーション対応、麻酔や集中治療管理における豊富な経験、最新研究の実践により、安全で高度な管理を行います。
- ・X線透視や超音波装置を用いた神経ブロックと、局所麻酔薬の種類と濃度を繊細に組み合わせることで、運動機能を維持しながらの鎮痛実現という他にはない管理ができます。この技術はスポーツやリハビリテーション時の痛みにも有用です。
- ・帯状疱疹への急性期治療、低髄液圧症候群への安全な血液注入療法。
- ・他科の医師や多職種が働く手術室や集中治療室の運営は、東北大学病院の心臓部で、経営への影響も大きいです。麻酔科では働き方のマネジメントにも積極的に取り組んでいます。



ご紹介いただく際の留意事項

■新患日は月・水・金(ペインクリニックと術前相談)です。ご予約については直接717-7760(外来)へお問い合わせください。